RITSUMEIKAN UNIVERSITY

2026年度 オイゲン・コウ氏 招聘企画

戦争・歴史的トラウマの記憶と継承
―個人・家族・社会・歴史をつなぐ対話

戦争や植民地支配の経験は、終戦とともに終わるものではありません。その記憶や沈黙、葛藤は、世代を超えて家族や社会に受け継がれ、現在の私たちの生き方や人間関係にも影響を及ぼしています。本企画では、戦争トラウマの当事者運動、歴史的トラウマと心理臨床、戦争の死者をめぐる記憶の場を手がかりに、個人の経験と家族・社会・歴史をつなぎ直す対話の可能性を探ります。

Seminar 1
戦争トラウマの日本社会への長期的影響と当事者運動

12／18（金）
14:55 - 16:30（4限）
OICキャンパス：B275
KICキャンパス：アカデミックスタジオ

Seminar 2
歴史的トラウマをめぐる対話の広がり
～多様な現場で活動するマイノリティとの対話と臨床事例から

12／18（金）
16:40 - 18:15（5限）
OICキャンパス：B275
KICキャンパス：アカデミックスタジオ

Seminar 3
戦争の死者をめぐる記憶と継承
―旧真田山陸軍墓地フィールドワーク

12／19（土）
10:00 - 12:00
集合場所 ： 旧真田山陸軍墓地

Seminar 4
戦争トラウマをめぐる対話
―個人・家族・社会・歴史をつなぐ

12／19（土）
14:55 - 16:30（4限）
OICキャンパス：B411
KICキャンパス：アカデミックスタジオ

- 各会場をオンラインで接続します。
- 朴希沙氏の報告と中村平氏のコメントは日本語で、オイゲン・コウ氏のコメントは英語で行われ、時間の関係上、通訳はつきません。当日は、あらかじめ原稿を翻訳したものにアクセスできるよう準備しますので、パソコンやタブレットなど必要に応じてそれぞれ準備してください。ディスカッションの部分には逐次通訳がつきます。
- 問合せ先：人間科学研究所事務局　ningen@st.ritsumei.ac.jp
  ※件名に「戦争・歴史的トラウマの記憶と継承」

● 参加費無料
（※フィールドワークのみ有料）
● どなたでもご参加いただけます。

● こちらから登録ください。
● 授業単位での申込は代表者名で登録、補足欄に参加人数を記載ください。

共催：立命館大学大学院人間科学研究科／立命館大学人間科学研究所

2026年度 オイゲン・コウ氏 招聘企画

戦争・歴史的トラウマの記憶と継承 ― 個人・家族・社会・歴史をつなぐ対話

司会進行者：村本邦子（立命館大学人間科学研究科 教員／人間科学研究所 所長）
通訳：徳永祥子（セラピューティック・ライフストーリーワークジャパン 代表）

※ 講師・コメンテーターはOIC会場参加

Seminar 1

戦争トラウマの日本社会への長期的影響と当事者運動

12／18（金）　14:55 - 16:30（4限）
OICキャンパス：B275 / KICキャンパス：アカデミックスタジオ

講師 ： 中村 平氏（広島大学大学院人間社会科学研究科 教員）
コメンテーター ： オイゲン・コウ氏（セント・ヴィンセント病院精神科医／人間科学研究所 客員研究員）

復員兵・元軍人を親にもつ子世代の当事者運動に注目し、家族に継承された戦争の傷や沈黙、加害と被害の記憶を考えます。講師自身の家族史も手がかりに、日本社会における戦争トラウマの長期的影響を問い直します。

Seminar 2

歴史的トラウマをめぐる対話の広がり
～多様な現場で活動するマイノリティとの対話と臨床事例から

12／18（金）　16:40 - 18:15（5限）
OICキャンパス：B275 / KICキャンパス：アカデミックスタジオ

講師 ： 朴 希沙氏（ZACカウンセラー、ノートルダム女子大学 非常勤講師）
コメンテーター ： オイゲン・コウ氏（セント・ヴィンセント病院精神科医 ／人間科学研究所 客員研究員）

在日コリアンをはじめ、多様なマイノリティとの対話や心理臨床の経験から、歴史的トラウマが現在の日常や人間関係にどのように現れるのかを考えます。個人の経験と歴史・社会をつなぐ臨床の可能性を探ります。

Seminar 3

戦争の死者をめぐる記憶と継承　―旧真田山陸軍墓地フィールドワーク

先着20名

12／19（土）　10:00 - 12:00
集合場所 ： 旧真田山陸軍墓地　※オンライン参加はありません。
参加費：200円（資料代）

ガイド ： 船越 幹央氏（NPO法人「旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会」理事長／大阪大学 総合学術博物館 教授・副館長）
岡田 祥子氏（NPO法人「旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会」副理事長）

日本最古の陸軍墓地の一つを歩きます。墓碑や慰霊施設に刻まれた戦争の記憶をたどり、国家・遺族・地域社会が戦争の死者をどのように記憶し、継承してきたのかを考えます。

Seminar 4

戦争トラウマをめぐる対話　―個人・家族・社会・歴史をつなぐ

12／19（土）　14:55 - 16:30（4限）
OICキャンパス：B411 / KICキャンパス：アカデミックスタジオ

講師 ： オイゲン・コウ氏（セント・ヴィンセント病院精神科医／人間科学研究所 客員研究員）

前日からのセミナーとフィールドワークを踏まえ、加害と被害、沈黙と語り、記憶と忘却が世代を超えてどのように受け継がれるのかを考えます。歴史的トラウマに向き合うための対話と心理臨床の可能性を、参加者とともに探ります。